公益社団法人霧島青年会議所　２０１９年度　第十一回　理事会　議事録

開 催 日：令和元年１１月２６日（火）

開会時間：２０時０５分

閉会時間：２３時００分

開催場所：ＪＣ会館

1. 開会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　重野　隆太　君
2. JCIクリード唱和　　　　　　　　　　　　　　板元　幸仁　君
3. JCIMISSION及びJCI Vision唱和　　　　鈴吉　美絵　君
4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和　　　　　　　　　田上　俊介　君
5. 霧島JC未来ビジョン唱和　　　　　　　　　　橋　正貴　君
6. ２０１９年度スローガン　　　　　　　　　　　　　　　　　同上
7. 理事長挨拶

理事長　藏元　国明君

本日も出席頂きましてありがとうございます。先日、１１月例会が終わりまして本年度の事業も総会を残すのみとなりました。一年間を振り返り最初に思い描いていた形と比べて、思い通りになりましたでしょうか？それぞれであるかと思いますが、過ぎたことは変えられないですが、次年度に如何に繋げるかが大事かと思います。報告書は勿論ですが、やった経験をもとにアドバイスしてほしいと思います。話変わりますが、今年も残り３２日となりました。年末に向け忙しくなると思います。体もですが事故等にも十分気を付けて頂きたいと思います。

1. 直前理事長挨拶

欠席のため割愛

1. 顧問挨拶

欠席のため割愛

１０． 議長選出

審議事項：理事長　藏元　国明

協議事項、報告事項：専務理事　前田　大悟

１１．議事録作成人並びに署名人の指名

議事録作成人：橋事務局長

　　　議事録署名人：田上副理事長、重野委員長

１２．出席者及び定足数の確認

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 藏元国明 | 〇 | 鈴吉美絵 | ○ | 木野田幸平 | × | 田上俊介 | 〇 | 重野隆太 | 〇 |
| 板元幸仁 | 〇 | 盛田啓仁 | × | 前田大悟 | 〇 | 南郷英俊 | ○ | 橋正貴 | 〇 |

　　理事１０名中８名出席により定足数を充たしていることを確認した。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 前田数馬 | × | 竹下圭一郎 | × | 井上正樹 | 〇 | 常盤大和 | ○ |
| 東井上陽平 | ○ |  |  |  |  |  |  |

　　役員５名中、現段階で３名出席。

オブザーバー　池澤くん、川平くん、花牟禮くん、遠山くん

１３．議題並びに資料の確認

審議事項２件　　協議事項６件　　連絡・報告事項３件　となっております。

１４．議事録承認の件

板元　　：確認のうえ適正に処理されていることを報告させて頂きます。

１５．議題

審議事項１：正会員承認（鎌田　優生君）の件

鈴吉　　： 前回の正副での指摘は青字にて対応しております。

板元　　： ポイントとして本人への入会意志の確認もできております。

南郷　　：仮会員費に関しては、二人とも入金の確認できております。また、会費・互助会の請求書に関しましても適正に作成されております。

藏元　　：他になきようでしたら、審議に諮りたいと思います。

審議

全会一致で審議可決

鈴吉：休憩動議

セコンド　重野　南郷

２０：３０まで休憩となる。

審議事項２：２０２０年度　理事長所信（案）並びに事業計画（案）等の件

田上　　：次年度理事会にて審議可決された。１２月総会での資料となります。ご審議のほど宜しくお願いします。

鈴吉　　：確認ですが、基本方針に委員会名の記載は不要でしょうか？

前田(大)：役職と氏名を記載する形で統一しております。

藏元　　：他になきようでしたら、審議に諮りたいと思います。

審議

全会一致で審議可決

審議事項３：２０１９年度１２月通常総会計画書並びに予算（案）の件

鈴吉　　：審議として上程させて頂きました。ご審議のほどお願いいたします。

重野　　：参加促進のところですが、昔のBBSの様なリレーをグループラインのノート機能を使用して実施したいと思います。説明については参考資料に入れております。会員に対して説明の上で委員会の方で進捗を確認しながら進めたいと思います。

藏元　　：特に意見がないようでしたら、審議に諮りたいと思います。

審議

全会一致で審議可決

協議事項１：２０１９年度９月例会報告書並びに決算書について

鈴吉　　：２回目となります。

重野　　：正副の意見対応を青字にて修正しております。

鈴吉　　：審議繰り上げ動議

セコンド　南郷　板元

全会一致で審議可決

藏元　　：審議事項となりましたので財政の方より報告お願いします。

南郷　　：領収の原本、現金・口座出納帳の修正を確認出来ており特に問題ないことを報告させて頂きます。

藏元　　：他に無きようでありましたら審議を諮りたいと思います。

　　　　　審議

全会一致で審議可決

協議事項２：地域に貢献できるひとづくり報告書並びに決算書について

鈴吉　　：２回目となります。前回正副並びに理事会での指摘はそれぞれ記載しておりますので確認ください。

重野　　：副理事長より説明のあった通りそれぞれ対応しております。

南郷　　：決算書は確認させて頂き領収書の原本も確認できております。

常盤　　：議案作成者の氏名と役職があっていないですが、どなたが作成したのですか？

重野　　：私が作成しておりますので、正しくは委員長であります。

東井上　：修正しなくても良いのですが、良かった事業であれば所見のところはもう少し前向きに記載した方が良いと思います。あと、事業の内容についても所見で触れた方が良いと思います。次回以降の報告書では参考にしてもらえましたらと思います。

重野　　：ありがとうございます。今後、その様に対応します。

鈴吉　　：審議繰り上げ動議

セコンド　南郷　板元

全会一致で審議可決

藏元　　：審議事項となりましたので財政の方より報告お願いします。

南郷　　：領収の原本、現金・口座出納帳の修正を確認出来ており特に問題ないことを報告させて頂きます。

藏元　　：他に無きようでありましたら審議を諮りたいと思います。

　　　　　審議

全会一致で審議可決

板元：休憩動議

セコンド　鈴吉　田上

２１：１０まで休憩となる。

協議事項３：２０１９年度１０月例会報告書並びに決算書について

鈴吉　　：１０月例会の報告書1回目となります。

板元　　：鎌田建設様にて実施した１０月例会の報告書となります。前回正副での対応は青字にて記載しております。

井上　　： 自分も参加させて頂き楽しませて頂いたのですが、鎌田建設さんには後日お礼はしましたか？

板元　　： 次の日に、役員の方に電話にてお礼をお伝えしております。

井上　　： 相手のルールで無償ということであったので、しっかりとお礼をして次につながれば良いと思います。

板元　　：駐車場の問題もありましたので、謝罪も含め連絡しております。

橋　　　：所見を読ませて頂いたのですが家族参加の例会はすごく良かったと思うのですが、改善点ってどこだと思いますか？

板元　　：委員会で話をしまして、例会中の子供の声についてどうなのかという点に関して、しょうがないという声がある一方で、もう少し工夫できる部分もあるのかなと思いますので改善点については記載したいと思います。

田上　　： 例会なので出席率に拘るのは必要ですが家族の方に理解してもらう機会は、今後も必要であると思いますのであまり悲観的に所見を記載しなくても良いと思います。

板元　　： 前向きに記載する様にします。

南郷　　：事業目的のところに誤字がありますので修正してください。あと１１番項のところがノイズが発生し。で終わっているので正確に記載してください。

板元　　：申し訳ありません。修正させて頂きます。

重野　　： 家族に対してLINE等での案内があっても良いのではないでしょうか？家族や奥様に対する参加を促す方法もあっても良いかと思います。

板元　　： 確かにその様に感じる部分もありますので検討させてください。

常盤　　：２点あります。どうしたら家族に伝えることができるのか？を考えてもらえましたらと思います。もう一点が参加促進の検証ですが早目に案内とある部分は実施しなかったのでしょうか？

板元　　： 一点目は再度考えさせて頂きます。決まった段階で打診はしているのですが、決定後の案内が、事前に聞いているので周知できていると思い少し案内が遅くなってしまったため、この様に記載しております。

常盤　　：計画の段階で、審議後に役割として誰がするのかまで考えて記載するなど記載してもらえましたらと思います。

板元　　： その様に対応させてください。

前田(大)： 良い例会であったので次年度に引き継いで行く中で、家族を招待する中で何が必要であるのかを考えて引き継ぎ事項をもう少し明確に記載した方が良いと思います。

板元　　： 踏まえて再考したいと思います。

藏元　　： 家族参加型が久しぶりであったのですが、まずは家族の方に共感してもらえないと地域に共感は得ることはできないと思います。どの時期が良いのかも踏まえて引継いでもらえましたらと思います。

板元　　：参考にさせて頂きます。

前田(大)：以上で２０１９年度１０月例会報告書並びに決算書を閉じさせて頂きます。

協議事項４：啓発事業　共感の輪を広げる仲間づくり事業並びに決算書について

鈴吉　　：代理で上程させて頂きます。前回まで連絡報告の方であげさせて頂いておりましたが今回報告書として上程させて頂きます。表題が事業計画となっているので修正したいと思います。

板元　　：表題に関しまして修正させてください。正副での意見は対応しております。一点資料の追加があります。ＳＮＳの広報に予算をかけても良いのではという部分で、昨年のまちづくり事業の実績を参考資料で追加しております。

重野　　：１１番項の実施スケジュールが遅れたという部分の対策としてスケジュールを読み込み実施する必要があるとあるのですが、対策になっていないと思います。もっと本音で記載頂ければと思います。

板元　　：当たり前の事ですので再考させてください。

橋　　　：首長の対談の記事に対してのいいね！の数はわかりますか？

板元　　：リーチは３００を超えています。いいね！に関しては６３となっています。

橋　　　：素晴らしいと思います。やってみた上でSNSと紙媒体ではどちらが良いと思いますか？

板元　　：委員会でも話はしたのですが、紙媒体として発信して誰が見てくれるのかという意見はありました。今回SNSに予算をかけずに発信したのですが、まだまだSNSでもやれることがあると思っていますので次年度へ引き継ぎさせて頂きます。

井上　　：今年、言ったことはしっかりと実行する素晴らしい委員長であったと思いますが、LINEしかしていない人への情報発信の方法は考えていますか？

板元　　：LINEに関しては個人のアカウントより情報をアップしておりました。利用する方が一番多いのはLINEであるかと思いますので今一度、考えて次年度へ引き継ぎたいと思います。

井上　　：実施してみて更に良くなる方法を引き継いでもらえたらと思います。

鈴吉　　：目的の検証の部分でSNSをシェアする人が少ないとあるのですが、シェアしなかったから自信を持って発信できる人材にならなかったという訳ではないと思います。例えば写真を提供するので記事を書いてもらう、感想を記載するなど、やり方は色々あったのかなと思います。

板元　　：確かにシェアが全てではないのですが、一番多かったのがまちづくり事業の当日の記事で多くシェアをしてもらうことでリーチが6,000を超えております。検証の書き方については再度、検討させてください。

東井上　：対談承諾書に関しては、印鑑を頂いたものを追加してもらえましたらと思います。

板元　　：次回の上程には添付したいと思います。

前田(大)：今の点に関してですが、口頭ベースでやりとりしたということでしょうか？

板元　　：そうですね。各秘書課に連絡の上でスケジュール調整をしております。

前田(大)：首長訪問とは違いますので引き継ぎの方に、承諾書の必要性も残してもらえればと思います。あと、各アカウント情報については添付せずに金庫に入れる等の徹底した管理をお願いします。また、次年度の委員長へは既に引き継いでいますか？

板元　　：次年度の委員長へは渡しております。

藏元　　：初めて戦略的に広報を実施する中で、効果は出ていると思います。一点集計一覧がありますが、リーチが伸びたものとイマイチだったものの違いは何だったのか、記事なのか時間帯なのかがわかると良いと思います。もう一点、計画段階でベクトル社長の会社名に誤りがあったことに関して相手に失礼のない様に計画時にしっかりと確認をする様、引き継いでください。

板元　　：広報集計一覧に関しては、もう少し見やすい形にしたいと思います。会社名については聞き間違いでありましたので、失礼のない様に確認する様に引き継ぎます。

前田(大)：以上で啓発事業　共感の輪を広げる仲間づくり事業並びに決算書を閉じさせて頂きます。

板元　　：休憩動議

　セカンド　田上　鈴吉

　２２：００まで休憩となる。

出席確認

夢を描けるまちづくり委員会　委員　八ケ代くん

橋　　　：盛田委員長より１１回理事会における委任状を頂いておりますので八ケ代君も議決権がございます。

理事１０名中９名出席により定足数を満たしていることを報告させて頂きます。

協議事項５：２０１９年度　誰もが夢を描けるまちづくり事業補正予算（案）について

田上　　：９月に修正議案を出させて頂いたのですが、その後変更があり補正として上程させて頂きます。

八ケ代　：本日代理として説明させて頂きます。印刷費に関して事務局にて印刷してしまいました。その点を補正として上程させて頂きます。

南郷　　：形上はできているのですが、差異理由について原因が記載されておりません。

八ケ代　：原因については、委員会を開催した流れで事務局にて対応してしまったためと思います。

南郷　　：報告書の方に改めて原因を記載頂ければと思います。

板元　　：ブルグラス方へは説明をしておりますか？

八ケ代　：本人の方へも事後となりますが報告しております。

前田(大)：会員間での見積もりが曖昧になってしまいますので、印刷に関して０円計上ではありますが、いつ・何枚刷ったのか記載してもらいたいと思います。事務局に関してもしっかりとガイドラインを構築したいと思います。

東井上　：来年度以降は、印刷物全てにチェック体制を取るということでしょうか？

前田(大)：今年度、印刷に関して消耗品費が大きくなっておりますので、私的に印刷している方もいると聞きますので体制を構築した上で引き継ぎたいと思います。

藏元　　：運営方のチェック機能がなかったという点もありますが、計画しているものが刷られているのか不明確なので、いつ・何枚印刷したのか記載してください。

八ケ代　：対応させて頂きます。

前田(大)：以上で、２０１９年度　誰もが夢を描けるまちづくり事業補正予算（案）を閉じさせて頂きます。

協議事項６：誰もが夢を描けるまちづくり事業報告書並びに決算書について

田上　　：補正予算について可決前ですので決算書を除いた部分でご意見頂けましたらと思います。

八ケ代　：前回、正副の報告書に関しまして委員会の開催前に作成されていた中で委員１０名ほど参加の上で委員会を開催して改めて報告書を精査しております。

藏元　　：八ケ代委員からもありましたが、委員会を開催せず委員長の主観で報告書を作成していたと経緯から前回の正副での意見は空白となっております。

板元　　：補正予算の内容をしっかりと記載してください。

八ケ代　：しっかりと対応させて頂きます。

南郷　　：きちんと目を通せていないのですが、次回正副までには出納帳や通帳など確認させて頂けましたらと思います。

鈴吉　　：お礼状について、しっかりと対応しておりますか？

八ケ代　：確認の上、対応させて頂きます。

鈴吉　　：お礼状はどの様に配布するのでしょうか？

田上　　：報告も兼ねて各学校を回らせてもらおうと思っております。

鈴吉　　：補正に出店者申込書がなかったのですが、確認をお願いいたします。

東井上　：お礼状の印刷は、どの様に対応する予定でしょうか？

田上　　：この部分だけ依頼するというのは、おかしいと思います。補正にて追加の上で対応させて頂こうと思います。

前田(大)：厳密に言えば修正になると思います。計画段階でしっかりと把握できていなかったということであると思います。

東井上　：どの様にお礼を考えていたのでしょうか？

田上　　：文章のみで考えていましたが、折角の機会なので委員会活動の中で風景なども含めて報告しようと考えております。

重野　　：問題点の部分と引き継ぎをもう少しリンクさせて次年度の委員長にしっかりと引き継いでください。

八ケ代　：その様に対応させて頂きます。

鈴吉　　：目的達成の部分ですが、対内の検証にて集客ができなかったから達成できなかったという理由ではなかったのかなと思います。

八ケ代　：修正させて頂きます。

井上　　：重野委員長からもあったのですが、中身に対する引き継ぎが薄いのかなと思います。今回の事業はどの様なものをイメージして、結果どうだったのかを記載しないといけないと思います。アンケートを見てもフェスの内容の薄さについて触れている若い世代の方もいるのでしっかりと反映してください。広報にも色々記載があるのですが、ポスターの掲示が２週間しかなかったのは何故なのか？今一度、委員会の方で細かい部分まで考えると良い報告書になると思います。

八ケ代　：真摯に受け止め委員会の方で検証し作成したいと思います。

常盤　　：対内・対外の目的に関して、今の結果はどうだったのかを客観的に考えてもらえればと思います。踏み込んだ検証も必要なのですがもう少し俯瞰的に見ても良いのかなと思います。今の目的の検証について納得ができないです。もう一点、SDGSバッジを配るとあったのですが、どうなったのでしょうか？

田上　　：元々、計画していたのですが予算の面も含めて計画から削除していたのですが、削除漏れでした。

常盤　　：もう少しわかりやすく記載してください。

南郷　　：当日のことについて記載が少ない様に感じます。全体事業ですので会員にももう少し聞き取りをした上で作成した方が良いと思います。

八ケ代　：その様に対応します。

橋　　　：方針の中で仕組みづくりをするという思いがあったと思いますが、今年の若い世代の集まりは来年度以降も継続されていくものでしょうか？

八ケ代　：委員会でも話があったのですが、卒業や就職する人もいるので、みんなが継続してということが困難である中で、継続を希望する人に対応して行きたいと思います。

橋　　　：同じ人でなくても各学校から何人という風にしていけると良いかと思います。

前田(大)：委員会の開催ができていなかったので、黒字での対応がほとんどだと思います。委員会だけの問題ではないので、理事役員としてしっかりと意見していきたいと思います。

藏元　　：体裁は整っているのですが、内容が薄い。会員への聞き取りや若い世代との現在の関係性やどの様にするのかが見えない。過去は変えれることができないので未来をどの様にするのかお伝え頂きたいと思います。

前田(大)：以上で、誰もが夢を描けるまちづくり事業報告書並びに決算書を閉じさせて頂きます。

連絡報告事項　３件

監事講評

常盤：体調不良の欠席者もいらっしゃいますが、無事開催できてよかったです。今回新たに１名の正会員承認もありました。また本日４名のオブザーバーが参加頂いております。ありがとうございます。ただ、議事録が止まったり議題の追加があったりとあまり良い理事会であったとは言えません。ですが、最後の計画書である１２月総会の議案が通過しました。今一度、気を引き締めてみんなで取り組み総会・卒会式を盛大に開催できればと思います。次の１２月理事会が最後となります。報告書をしっかりと仕上げて良い決議ができたなと思える様に準備いただければと思います。

井上：進行上、色々あったのですが、オブザーバー含め皆さんに理解して頂きたいのはJ Cは会員の会費のなかで事業をしていくので、費用対効果や意味があるのかという部分を重んじているので厳しい意見もあります。特にこの時期は報告の時期であるため今回の様な意見が多かったのですが、全てがこの様な機会ではないのでJ Cの一つの魅力と考えて頂ければと思います。次回１２月に良い報告が上がってくる様にアドバイスをしてみんなで協力していければと思います。 また残り１ヶ月みんなで協力して良い形で終われる様にできればよいと思います。

次回開催

令和元年　１２月１０日　　第１２回正副理事長会議

令和元年　１２月２０日　　第２回臨時正副理事長会議

令和元年　１２月２３日　　第１２回理事会

１７．閉会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　君

議長・理事長（代表理事）　　　　藏元　国明　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　田上　俊介　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　重野　隆太　　　　　　　　　㊞

監　　　　　　　　　事　　　　　井上　正樹　　　　　　　　　㊞